

平成23年度秋期 災害対策専門研修
マネジメントコース:エキスパートA

主担当:主任研究員 奥村 与志弘

	10月4日(火)	10月5日(水)	10月6日(木)	10月7日(金)
09時30分～10時45分	1限	災害対応概論(応急期) 石川 永子 主任研究員 ・応急対応期の対応と課題について理解を深める	災害対応概論(初動期) 紅谷 昇平 研究主幹 ・初動対応時の対応と課題について理解を深める	都市の復興概論+復興まちあるき 小林 郁雄 客員研究員 (神戸山手大学現代社会学部 教授) ・阪神・淡路大震災の被災地を歩きながら、復興過程と様々な取り組みを学ぶ
11時00分～12時15分	2限	10:40～11:00 開講式 11:00～12:15 オリエンテーション 奥村 与志弘 主任研究員	危機対応各論(自衛隊の災害派遣) 高野 康悦 陸上自衛隊中部方面総監部 防衛部 防衛課長 1等陸佐 ・災害時の自衛隊の役割や、組織・ロジスティックの特徴などについて学ぶ	※展示施設見学
13時15分～14時30分	3限	災害対応各論(NPO・NGO) 阪本 真由美 主任研究員 ・災害時の被災社会の対応において、NPO・NGOの果たす役割とその特徴、また、行政との連携について理解を深める	災害対応各論(医療活動) 甲斐 達朗 上級研究員 (大阪府済生会千里病院副院長・千里救命救急センター長) ・災害現場の医療活動体制について理解を深める	危機対応時の組織論(情報システム) 浦川 豪 兵庫県立大学総合教育センター内防災教育センター准教授 ・災害発生直後の被害予測技術、システム設計における業務分析の考え方を学ぶ
14時45分～16時00分	4限	災害対応各論(自治体財政) 中川 和之 時事通信社山形支局長 ・我が国の防災体制、厚生労働省の役割等の理解を深める	災害対応演習 奥村 与志弘 主任研究員 ・危機発生時の具体的な課題をもとに、災害対応の考え方について学ぶ	防災計画・マニュアルの考え方 近藤伸也 東京大学生産技術研究所 都市基盤安全工学国際研究センター 特任研究員 ・災害対応に活かすことができるマニュアルの考え方について学ぶ
16時15分～17時30分	5限	災害対応概論(復旧・復興期) 中林 一樹 上級研究員 (明治大学 大学院政治経済学研究科 特任教授) ・復旧・復興期の対応と課題について学ぶ	+ 災害事例 WS 上野 友也 主任研究員 ・災害対応に関わるワークショップを行い、研修で得た知識を実践に活かす方法を考える	危機対応時の組織論(情報提供・報道機関対応) 安富 信りサーチフェロー (大阪読売サービス編集制作本部 企画編集委員)、 川西 勝利サーチフェロー (読売新聞大阪本社 科学部次長) ・災害時の情報提供方法、報道機関対応の課題を学ぶ
17時30分～17時45分	—	レポートタイム	レポートタイム	16:00～16:40 レポートタイム 16:40～16:55 閉講式

平成23年度秋期 災害対策専門研修
マネジメントコース:エキスパートB

主担当: 研究員 佐伯 琢磨

	10月18日(火)	10月19日(水)	10月20日(木)	10月21日(金)
09時30分～10時45分	1限	ゲーミング手法を活用した防災・減災ワークショップ 細川 顕司 財団法人市民防災研究所事務局長兼調査研究部長	災害対策本部の空間構成設計演習 牧 紀男 京都大学防災研究所准教授 元谷 豊 株式会社サイエンスクラフト東京事務所防災部主任	都市巨大災害論 河田 恵昭 人と防災未来センター長 ・事例を通じて災害による被害過程の全体像について理解する
11時00分～12時15分	2限 10:40～11:00 開講式 11:00～12:15 オリエンテーション 佐伯 琢磨 研究員	・阪神・淡路大震災の事例を踏まえつつ、災害時の対応イメージを豊かにすることの重要性とその方法について、ゲーミング手法を活用して学ぶ	・災害対策本部のレイアウトの重要性、また適切なレイアウトについて、演習を交えて理解する	非公共機関の災害対応 水島 重光 日本生活協同組合連合会 震災担当世話人 ・災害時における公共機関以外の組織との連携について
13時15分～14時30分	3限 災害対応従事者の業務管理論 岩井 圭司 兵庫教育大学大学院学校教育研究科教授 ・災害対応業務を行う上でのマインドケアについて	災害の対応事例と教訓 齋藤 富雄 兵庫県国際交流協会理事長 桑井 弘之 豊岡市総務部防災課長補佐兼防災係長	阪神・淡路大震災の復興まちづくりにおける法制度上の課題 弁護士 河瀬 真 不動産鑑定士 櫻井美津夫 ・阪神・淡路大震災における法制度適用の実態とその問題、課題について	業務継続計画論 紅谷 昇平 研究主幹 ・各公共機関におけるBCPの意味と重要性について、また、その導入について、具体的な事例を交えて理解する
14時45分～16時00分	4限 標準的な災害対応システム論 木村 玲欧 兵庫県立大学環境人間学部 准教授 ・災害対応における標準的業務手順や対応手法について	・災害事例をもとに、災害対応の課題と対応方法の考え方について理解を深める ・事例をもとに意見交換を行い、災害対応のあり方について理解を深める	被害認定業務 田中 聡 富士常葉大学環境防災学部教授 ・被害認定の種類、また被災者への支援にとって重要な罹災証明書発行業務の実務について	全体討論会 佐伯 琢磨 研究員 等 ・参加者との意見交換から、立場による考え方の違いを学ぶ
16時15分～17時30分	5限 展示施設見学	災害情報共有手法 宇田川 真之 主任研究員 ・情報共有の具体的方法について	リスクマネジメント概論 小林 潔司 上級研究員 (京都大学経営管理大学院・大学院工学研究科都市社会工学専攻(併任)教授) ・行政評価の手法と考え方、防災計画等に基づく事業の評価手法について	16:00～16:40 レポートタイム 16:40～16:55 閉講式
17時30分～17時45分	— レポートタイム	レポートタイム	レポートタイム	

平成23年度秋期 災害対策専門研修
アドバンスト／防災監・危機管理監コース

主担当:主任研究員 上野 友也

10月12日(水)	10月13日(木)
<p>(10:30～10:55) 開講式 (10:55～11:20) オリエンテーション 上野 友也 人と防災未来センター 主任研究員</p>	<p>(10:00～12:30) 「災害対応特論」 室崎 益輝 人と防災未来センター 上級研究員 (関西学院大学総合政策学部教授・同大学災害復興制度研究所所長) 災害の状況に応じて既存法制度の限界部分、対応策についての指示、判断ができるようになるための考えを深める。講義は討論形式で行う。 (途中休憩あり)</p>
<p>(11:30～12:30) 「危機対応組織論」 河田 恵昭 人と防災未来センター センター長 危機対応をする上で首長を補佐する職にある人が必要とする能力について理解する。</p>	<p>(13:30～15:15) 「災害対応検討ワークショップ」 室崎 益輝 人と防災未来センター 上級研究員 (関西学院大学総合政策学部教授・同大学災害復興制度研究所所長) 上野 友也 人と防災未来センター 主任研究員 災害発生後の限られた情報の中で状況を推測し、対応方針、施策を検討する考え方を演習を通じて深める。 (途中休憩あり)</p>
<p>(13:30～14:30) 「目標管理型災害対応論」 紅谷 昇平 人と防災未来センター 研究主幹 目標管理型災害対応の考え方やその具体的内容について、過去の災害事例を踏まえ理解する。</p>	<p>(14:45～17:00) 「行政対応特論」 東田 雅俊 日本赤十字社兵庫県支部事務局長(元 兵庫県防災監) 丸一 功光 神戸市消防局総務部長(元 神戸市広報課主査) 大規模災害時の対応事例を知り、災害発生後の対応課題と首長に助言すべき内容を学ぶ。講義は討論形式で行う。 (途中休憩あり)</p>
<p>(14:45～17:00) 「行政対応特論」 東田 雅俊 日本赤十字社兵庫県支部事務局長(元 兵庫県防災監) 丸一 功光 神戸市消防局総務部長(元 神戸市広報課主査) 大規模災害時の対応事例を知り、災害発生後の対応課題と首長に助言すべき内容を学ぶ。講義は討論形式で行う。 (途中休憩あり)</p>	<p>(15:30～15:45) レポートタイム (15:45～16:00) 閉講式</p>
<p>(17:00～17:15) レポートタイム</p>	

※内容や時間帯については変更の可能性があります。